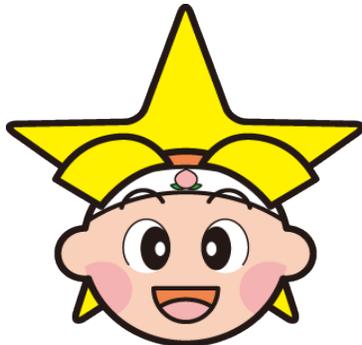


# 宿泊施設向け

## 新型コロナウイルス感染症 予防ガイドラインの解説



©岡山県「ももっち」

岡山県 生活衛生課



©岡山県「うらっち」

# ポイント

- 3つの密（**密閉・密集・密接**）を避けること。
- 従業員や宿泊客の動線や接触場所を洗い出し、接触感染と飛沫感染のリスクを考えること。

**接触感染**：他者と共有する物品や不特定多数の人が触れる場所に注意

**飛沫感染**：会話や接客、人と人との距離、換気に注意

## 参考資料

「宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン」  
(全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会など)

「ホテル業における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン」  
(一般社団法人日本ホテル協会)

# ロビー

## (チェックイン・チェックアウト)

- 入り口、ロビー内に手指の消毒設備を設置する。
- チェックイン待ちの宿泊客が距離を保てるよう、立ち位置の表示などをする。
- フロントにはアクリル板やビニールカーテンなどの仕切りを設置する。
- カード決済などで非対面の手続きをする。
- 返却後のキーは消毒する。



# ロビー

(チェックイン・チェックアウト)

## 宿泊客への呼びかけ

- 発熱、息苦しさ、けん怠感などの症状がある場合は  
申し出る。
- 入館の際に手指を消毒する。



# 客室

- 客室清掃時に、設備や備品を消毒する。  
(ドアノブ、照明スイッチ、テーブル、椅子、リモコンなど)



# 客室

## ゴミの取扱い

- ビニール袋に入れ、袋の口を閉じ密閉して処理する。

## 換気

- 空調機を外気導入に設定する。
- 一定時間毎に窓を開けて換気をしてもらうよう宿泊客に呼びかける。



# 大浴場

## 入場者について

- 入場人数を制限する。



## 更衣室

- ドアノブやロッカーなどは定期的に消毒する。
- 浴場での貸しタオルを中止し、客室から清潔なタオルを持参してもらう。
- ドライヤーなど備品を消毒し、化粧品やブラシは持参してもらう。

# 大浴場

## 浴室内

- 換気をおこなう。
- 浴室、浴槽内での対人距離を保つよう呼びかける。

## 休憩室

- 常時換気する。
- テーブル、椅子、飲料サービス機器のボタンなどを定期的に消毒する。

# 食 事

- 部屋の換気をおこなう。
- テーブル同士の距離をあける。
- 1つのテーブルに座る人数を制限する。
- 着席の仕方を決める（対面しない等）。
  
- 鍋料理や盛り合わせは、一人鍋や一人盛りに極力変更する。
- 下膳作業後は手洗い、手指消毒をする。
- グループ毎に食事後のテーブル等を消毒する。



# 食 事

## 宿泊客への呼びかけ

- 入場時には手指を消毒する。
- お酌や回し飲みは控える。
- 食事中以外はマスクを着用する。



# 食 事

## 部屋食

- 客室入室後、手指の消毒をしてから配膳する。
- 一度に料理を提供し、客室への出入りを減らす。

## ビュッフェ

- 宿泊客が使用するトングや菜箸は頻繁に交換する、または、スタッフが料理を取り分けたり、小皿に盛りつけて提供する。
- ドリンクサーバーのボタンや、ピッチャーの持ち手を消毒する。
- 使用済みトレイは消毒する。

# トイレ

## トイレの管理

- 換気をおこなう。
- ハンドドライヤーを止め、ペーパータオルを設置する。
- ドアノブなど不特定多数の人が触るところを消毒する。
- 便器内は通常の清掃をおこなう。

## 宿泊客への呼びかけ

- 蓋を閉めてから汚物を流す。



**フタを閉めてから  
流してください**

# 館内清掃

- 清掃時はマスク・手袋を着用する。
- 通常のコ掃後に、不特定多数の人が触れる場所を消毒する。  
  
(ドアノブ、エレベーターのボタン、  
階段のてすり、ロビー内の家具など)
- 床や壁は通常のコ掃をおこなう。

# 宿泊客に感染の疑いがある場合

## 事前に準備すること

- 他の客と区分して待機する部屋等を決めておく。
- 保健所（新型コロナウイルス受診相談センター）  
の連絡先を把握しておく。
- 宿泊者名簿には正確な記載をし、保管する。

# 宿泊客に感染の疑いがある場合

## 感染の疑われる宿泊者がいる場合は・・・

- 客室内での待機とマスク着用をお願いする。  
(同行者も同様)
- 食事は客室に運び、他の宿泊客と接触しないようにする。
- 対応する従業員を限定する。
- 保健所（新型コロナウイルス受診相談センター）に連絡し、指示に従う。